

停電後の復帰方法

型式:AUS- M4K

平成16年9月8日
(株)コロナ

注意事項

- ・時間帯別電灯契約をご利用のお客様の場合、沸き増しの操作を行っていただかないと、お湯は作れません。
- ・8時間電灯契約をご利用のお客様の場合、復帰後の通電開始は夜11:00時以降の通電となります。
- ・電灯契約を確認してお話下さい。
- ・停電時もブレーカーが「入」になっていた場合、一度「切」にした後「入」に戻して下さい。
- ・家のブレーカー、機器のブレーカーの両方を確認して下さい。

復帰の基本的な流れ

8時間電灯契約の場合

- ・家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。
(「入」になっている場合は一旦「切」してもらい、再度「入」に入れてもらう。)
- ・夜11:00時以降に通電が始まる。
(昼の通電を確認する場合は電力会社でないと確認できません。)

時間帯別電灯契約の場合

- ・家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。
(「入」になっている場合は一旦「切」してもらい、再度「入」に入れてもらう。)
- ・リモコンの時刻の設定をする。(設定方法は以下を参照)
- ・昼間の沸き上げをお客様自身で行ってもらう。

使いかた

警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。



禁止

タンクが満水になっていることを確認してから通電すること

- ・満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。
- ・水を入れなくて通電するとヒーターがパンクしたり故障の原因となります。



禁止

注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



沸騰後飲用

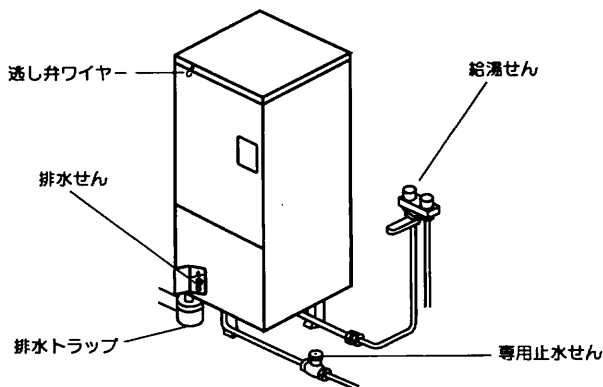
給水のしかた

最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すため、給水したら一度、全部排水し、再び給水してください。

1. 最初の給水のしかた

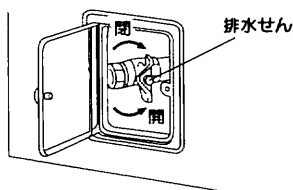
給湯せん、専用止水せんを開きます。

約20～30分で給湯せんから水が出てきます。



2. 排水のしかた

- (1)専用止水せんを閉じます。
- (2)給湯せん・排水せんを開きます。
- (3)約40分～50分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁ワイヤーを引いて逃し弁を開けてください。)



3. 再給水のしかた

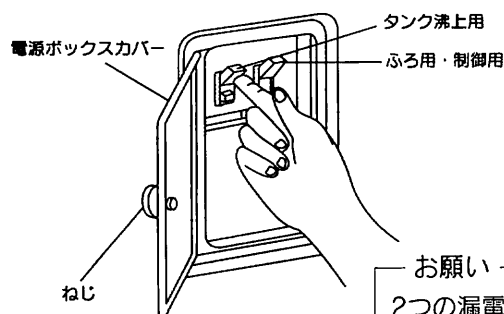
- (1)排水せんを閉じます。
- (2)専用止水せんを開きます。
- (3)給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。

通電(沸上げ)のしかた

通電は、必ず給水をしてから行ってください。

1. 電源の入れかた

- (1)電源ボックスカバーのねじをゆるめてカバーを開けます。
- (2)漏電遮断器のレバーを2つとも必ず「入」にします。(560Lは3つです。)



お願い
2つの漏電遮断器を必ず「入」にしてください。(560Lは3つです。)

- (3)電源ボックスカバーをとじ、ねじを確実に締めます。

2. 現在時刻を合わせます

メインリモコンを使用して現在時刻を合わせます。(➡10ページ)

3. 今夜からお湯を使いたいときは沸増し設定をします(時間帯別電灯のとき)

メインリモコンの沸増しボタンを押します。(➡13ページ)

各部のなまえとはたらき (つづき)

メインリモコン

- イラストはフタが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。

「高温」表示

給湯温度が高温であることを示します。

「電源」表示

制御電源が入ると表示します。

「給湯」表示

給湯温度が表示されていることを示します。

「優先」表示

メインリモコンが優先のときに表示します。

残湯量表示

タンク内の残り湯量を5段階で表示します。
(☞12ページ)

「湯はり予約」表示

湯はり予約がされているときに表示します。

デジタル表示

現在時刻・沸き上げ停止日数・湯はり予約時間・エラーコードを表示します。

湯温設定表示

タンク内の沸き上げ設定温度を表示します。

音声スピーカー

ここから音声案内がでます。

沸増し設定表示

時間帯別電灯で契約時「沸増し」設定をしたときに表示します。
(☞13ページ)

「沸上げ設定」ボタン

タンク内の沸き上げ温度を設定するのに使います。
(☞11ページ)

「沸増し設定」ボタン

時間帯別電灯でご契約時、昼間の電気でタンクの沸増しを行うときに使います。
(☞13ページ)

「タンク湯温」ボタン

タンク内に残っている湯の温度を確認するときに使います。
(☞12ページ)

「湯はり予約」ボタン

自動湯はり完了時間を設定します。
(☞15ページ)

「▶」表示

ピークシフト中に点灯します。

「沸き上げ中」表示

タンクのヒーターに通電が開始されると表示します。

「湯温」表示

タンク内湯温を表示していることを示します。

デジタル表示

給湯温度・タンク内湯温を表示します。

「停止日数」表示

温水器の沸き上げの停止している時に表示します。
(☞14ページ)

電力制度表示

加入された電力制度を表示します。深夜電力設定のとき点灯します。

「おふろ」ランプ

ふろ湯はり中は点灯します。「お好み」設定中は点滅します。

「おふろ」ボタン

ふろ湯はりを動作・停止します。
(☞16ページ)

「おはなし」ランプ

インターホン使用中、点灯または、点滅をします。

「おはなし」ボタン

浴室リモコンと会話（インターホン）をするときに使います。
(☞23ページ)

「給湯温度」ボタン

給湯温度を設定します。
(30℃～48℃、50℃、60℃)
(☞20ページ)

「⊕/⊖」ボタン

現在時刻・沸き上げ停止・湯はり予約・給湯温度の設定をする時に使います。

マイク

インターホンを使用するときここに近づけて話しかけます。
(☞23ページ)

「音量」ボタン

音声の大きさ、ブザーの音の大きさを調整します。
(☞22ページ)

「停止日数」ボタン

タンクの沸き上げを停止する日数を設定するのに使います。
(☞14ページ)

「時計」ボタン

現在時刻を合わせる時に使います。
(☞10ページ)

各部のなまえとはたらき

- *電気温水器は深夜の間にお湯を沸かし、タンクに貯めておいて必要なときに利用するものです。
- *アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、電気温水器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子を

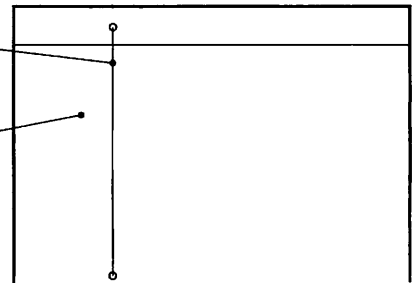
- アース線で接続することにより構成されます。
- *電気温水器本体に「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

外観および内部構造

別売部品および現場施工部品を組込んだイラストになっています。

※このイラストは370L・460Lで説明しています。

560Lタイプ



※これ以外は下図をご覧ください。

簡易ホッパー
前面カバー

電源ボックスカバー
この中に漏電遮断器が2個入っています。
560Lは漏電遮断器が3個入っています。

減圧弁
高圧力型：150kPa
※減圧弁は消耗部品です。定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にご相談ください。
めやすとしてP35を参照ください。

安全上のご注意ラベル

給水パイプドレン栓

逃し弁ワイヤー
逃し弁の動作を確認するときに2~3回手前にかるく引きます。

逃し弁
高圧力型：170kPa
※逃し弁は消耗部品です。定期的に交換が必要です。交換時期は、水質によって異なりますので販売店にご相談ください。
めやすとしてP35を参照ください。

上ヒーター

タンク

前面カバー下

下ヒーター

過圧防止弁排水ホース
高圧力型は圧力センサーが付いており異常時にはリモコンでお知らせし、タンク沸き上げを停止します。

排水点検扉
この中に排水せん、非常用取水コックが入っています。

給水
専用止水せん

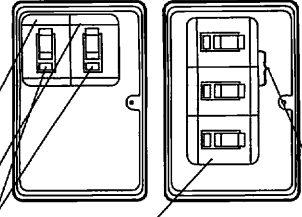
排水せん

非常用取水コック（飲用はできません）
非常の際にはこのコックよりタンクの水を取り出して非常用水として利用します。
利用のしかたは本体ラベルをご覧ください。

電源ボックスカバー内部

370L・460L 560L

タンク沸上用漏電遮断器
 風呂用・制御用漏電遮断器
 テストボタン

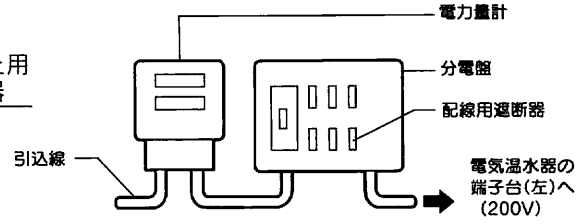


タンク沸上用
漏電遮断器
 風呂用・制御用漏電遮断器

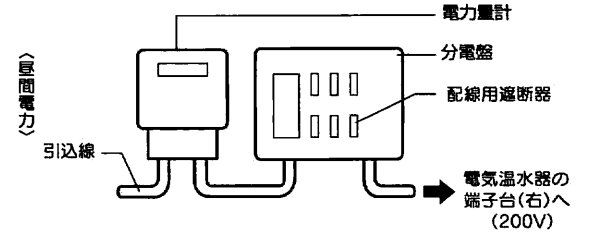
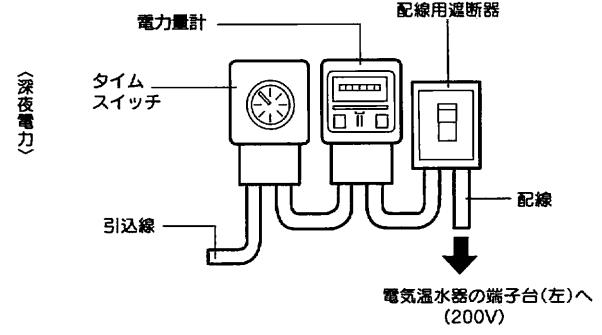
標準引込み配線例

※くわしくは施工説明書をご覧ください。

●時間帯別電灯のとき



●深夜電力のとき



安全上のご注意ラベルについて

特に重要と考えられる事項について「安全上のご注意ラベル」に記載してあります。

- △警告**
 この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に付属の「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。
- 感電の恐れあり**
 ・制動カバーは開けないこと。
 ・電源プラグは一度抜いておくこと。
 ・アース工事がなされているか、確認すること。
 ・漏電遮断器の動作確認をすること。
 - 発火の恐れあり**
 ・温水器の近くにはガス類や引火物を置かないこと。
 - やけどの恐れあり**
 ・湯水は湯水混合水せん本体に手を触れないこと。
 ・湯水は湯水混合水せん本体に手を触れないこと。
 ・湯水は湯水混合水せん本体に手を触れないこと。
 ・タンクが過熱にさらされれば湯水で感電をしないこと。
 - 感電・火災の恐れあり**
 ・故障時（こげ臭いなど）は漏電遮断器のレバーを下げて電源を「OFF」にして、お買いあげの電気店またはセキスイ産業のお客相談センターへご連絡ください。

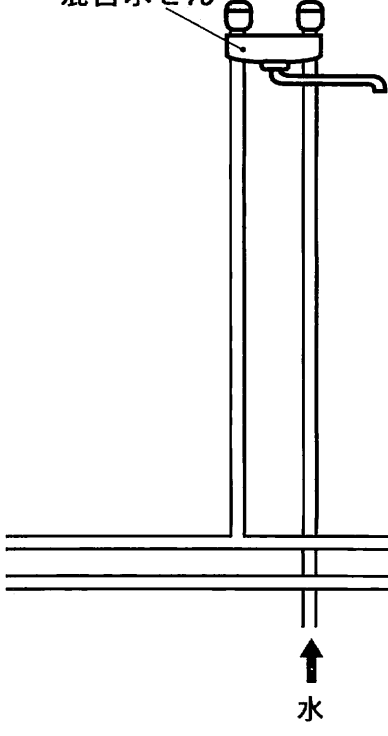
○お願い
 本体のラベルが剥がれてなくなったり、文字が消えて読めなくなった場合には、ラベルを販売店から、部品コードを指定して購入し、元の位置に貼ってください。

△取扱にお留心

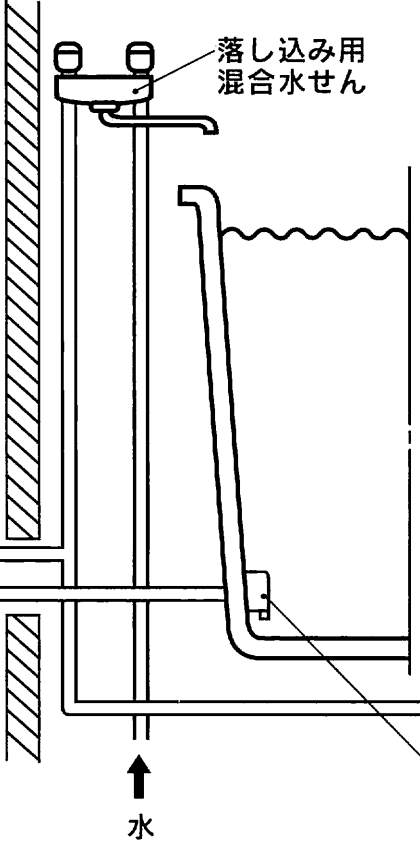
- 1 湯水混合水せんから水が出ることを確認してから漏電遮断器を「入」にしてください。
 水を入れないで通電すると故障の原因になります。
 - 2 通し弁の差し置きの出口は、絶対にふさがないようにください。
 タンクが変形して水モレや故障の原因になります。
 - 3 タンクの排水を1か月に1回、行ってください。
 水アカや汚れがたまると水が汚れる原因になります。
 - 4 お湯の出が悪くなったときは、お買いあげの販売店に依頼して、タンクのストレーナーの掃除を行ってください。
 水アカや汚れがたまると、お湯が出なくなる原因になります。
 - 5 1か月以上使用しないときは電源を「OFF」にしてタンクの水はすべて排水してください。
 水質が悪化することがあります。
 - 6 そのまま使用しないでください。長期のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の方法に注意し、必ず一度、アカンなどで消毒してからにしてください。
 ・必ず水筒等に溜めた水を使用してください。
 ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお風呂にしてください。
 ・固形物や変色、濁り、異臭があつた場合には、飲用には使用せずに直ちに清掃の依頼を行ってください。
- 販売店・工事店の方にお留心**
- 1 湯水混合水せんから出るパイプが回らないようにダブルレンチにして、配管してください。
 ねじの緩みから水モレの原因になります。
 - 2 配管は防水・排水工事をしてください。
 養生ご使用になり、水モレしたとき床を腐らせたりはかの場合に水が溢れ出す原因になります。
 - 3 配管材料は耐熱性の高い材料を使用してください。
 劣化メッキ鋼管のパイプ、継手を使わずに銅びねでお湯の出が悪くなったり、故障の原因になります。
 - 4 脚はアンカーボルトで固定してください。
 地震などで外力が加わったとき、移動・転倒して、水モレ・事故の原因になります。
- ©39246L36020A | 組込形

各部のなまえとはたらき

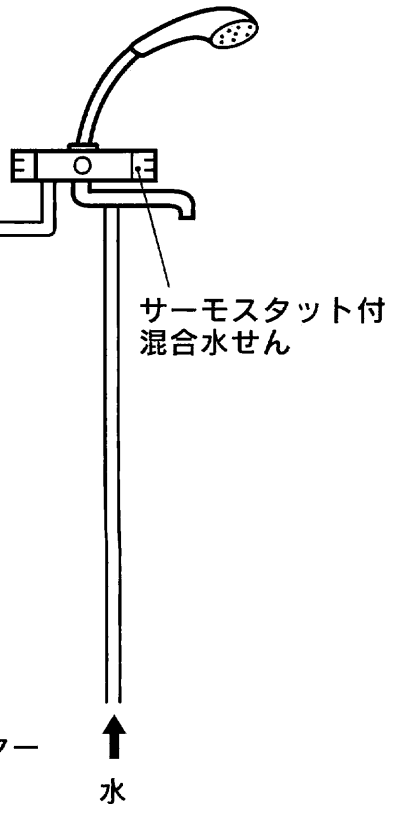
**キッチン・洗面所等
混合水せん**



**落とし込み用
混合水せん**



**サーモスタット付
混合水せん**



水せんは湯水混合水せんを使用することをお勧めします。
 特に浴室ではサーモスタット付混合水せん等の使用をお勧めします。

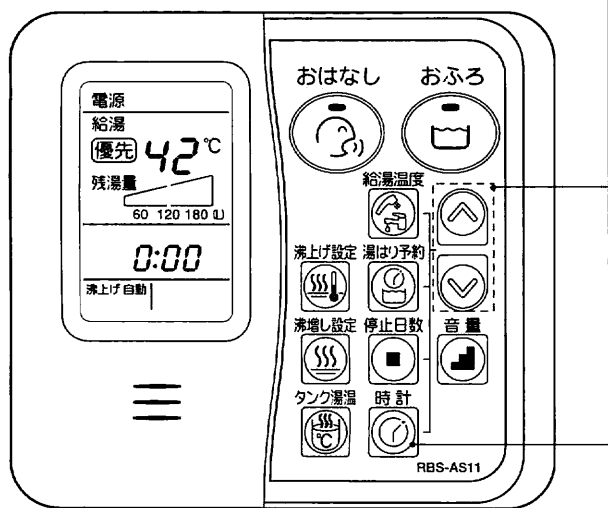
現在時刻の合わせかた

※メインリモコンで操作します。

- 必ず現在時刻の設定をしてください。時間帯別電灯料金制度で使用する場合には、設定をしないとお湯を沸かすことができません。
- 誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。

つぎの手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) ここでは13時45分に合わせることで説明します。



メモ

現在時刻を設定されると、浴室リモコンにも自動的に現在時刻が表示されます。

お願い

- ・2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設定を行ってください。
- ・ときどき現在時刻表示を確かめてください。時刻のズレがあると電気料金が割高になることがあります。

設定手順

1. 漏電遮断器のレバーを2つとも「入」にします(560Lは3つです)

(左図のように表示されます)

2. 『時計』 ボタンを押します

デジタル表示部に0:00が表示されて、0が点滅します。



0:00

3. 『⊕/⊖』 ボタンを押して、13時に合わせます

『⊕』 ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。『⊖』 ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。



13:00

4. 『時計』 ボタンを押します

デジタル表示部の00が点滅します。



13:00

5. 『⊕/⊖』 ボタンを押して45分に合わせます

『⊕』 ボタンを押すと1分ずつ数字が進みます。『⊖』 ボタンを押すと1分ずつ数字が戻ります。



13:45

6. 『時計』 ボタンを押します

ボタンを押すと時刻が決定し、浴室リモコンにも時刻が表示されます。

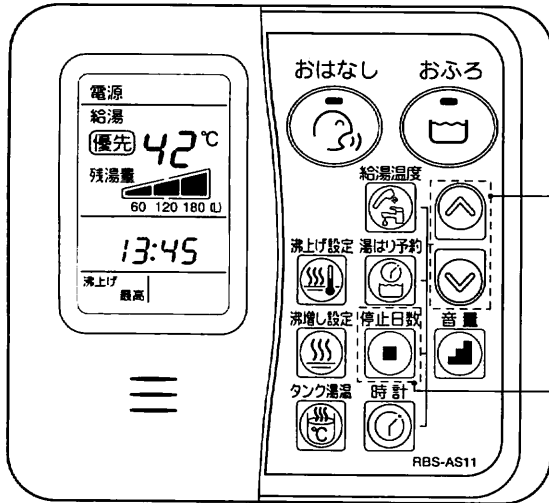
7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます。


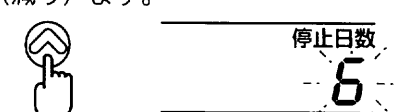
沸上げ停止のしかた

※メインリモコンで操作します。

- 旅行などで家を留守にする間のお湯を使用しないときなどは、タンクのお湯の沸き上げを停止することができます。
- 沸き上げ停止日数は、2日から14日まで設定することができます。

設定手順



1. 『停止日数』 ボタンを押します
ボタンを押すと2の表示が点滅します。

2. 『⊕⊖』 ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数予約の数字が増え（減り）ます。

3. 『停止日数』 ボタンを押します
ボタンを押すと、数字が点滅から点灯に変わり停止日数が決定します。
4. 操作が終わったら必ずふたをしめます

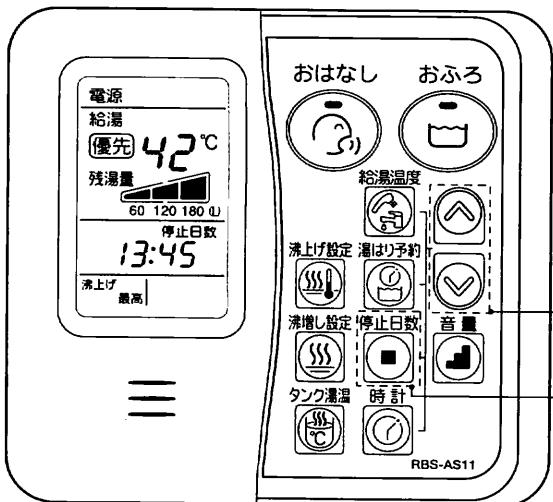
停止日数の決めかた

例) 2月1日に出発して、2月7日に帰宅する6泊7日の旅行の場合
6泊7日

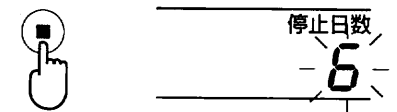
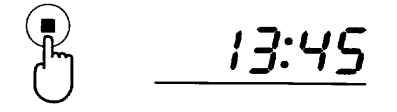
出発日 (2月1日) に停止日数予約6を設定する。
1日経過ごとに日数が1日ずつ減っていきます。

●沸き上げ停止の解除のしかた

・沸き上げ停止日数は、次の手順で解除してください。



手順

1. 『停止日数』 ボタンを押します
停止日数が点滅します

2. 『⊕⊖』 ボタンを押す
ボタンを押して0に合わせます。
3. 『停止日数』 ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数が解除されて10秒後に現在時刻が表示されます。

4. 操作が終わったら必ずふたをしめます

その他の解除方法
「停止日数」 ボタンを2秒以上の長押しをします。
表示が0に戻り、10秒後には現在時刻が表示されます。

使
い
か
た

浴室リモコン

- イラストはフタが開いた状態です。
- けい光表示部の表示は全表示している状態です。
(ボタン操作がない時は全表示消灯しています。)

「おこのみ」表示

湯はり量が「おこのみ」設定になっていると表示します。
(☞21ページ)

湯はり水位表示

湯量を水位の目安として表示します。

デジタル表示

現在時刻・エラーコードを表示します。

「優先」表示

浴室リモコンが優先のときに表示します。

給湯温度表示

給湯温度を表示します。

マイク

インターホンを使用するときここに近づけて話かけます。
(☞23ページ)

「高温」表示

給湯温度が高温であることを示します。

「高温差し湯」ボタン

高温差し湯の入切を行います。
(☞18ページ)

「高温差し湯」ランプ

高温差し湯中に点灯します。

矢印表示

浴槽に湯が給湯されていると表示します。

湯はり温度表示

湯はりの時の温度および初めての湯はり量を表示します。

「おふろ」ランプ

ふろ湯はりに点灯します。
「おこのみ」設定中は点滅します。

「おふろ」ボタン

ふろ湯はりを動作、停止します。
(☞16ページ)

音声スピーカー

ここから音声案内がでます。

「ふろ湯温」ボタン

湯はりする湯温を設定します。
[35℃～48℃ (1℃刻み)]
(☞17ページ)

「優先」ボタン

リモコンの優先を設定します。

「音量」ボタン

音声の大きさ、ブザーの音の大きさを調整します。
(☞22ページ)

「給湯温度」ボタン

給湯温度を設定します。
30℃～48℃
50℃、60℃
(☞20ページ)

「設定」ボタン

給湯温度、ふろ湯温、ふろ湯量を設定するときに使います。

「洗浄」ボタン

フルオート用です。
(この製品では使用しません)

「ふろ湯量」ボタン

湯はりする水位を設定します。
(20L刻み、16段階)
(☞17ページ)

「差し水」ボタン

差し水 (約30℃) の入切を行います。
(☞19ページ)

「足し湯」ボタン

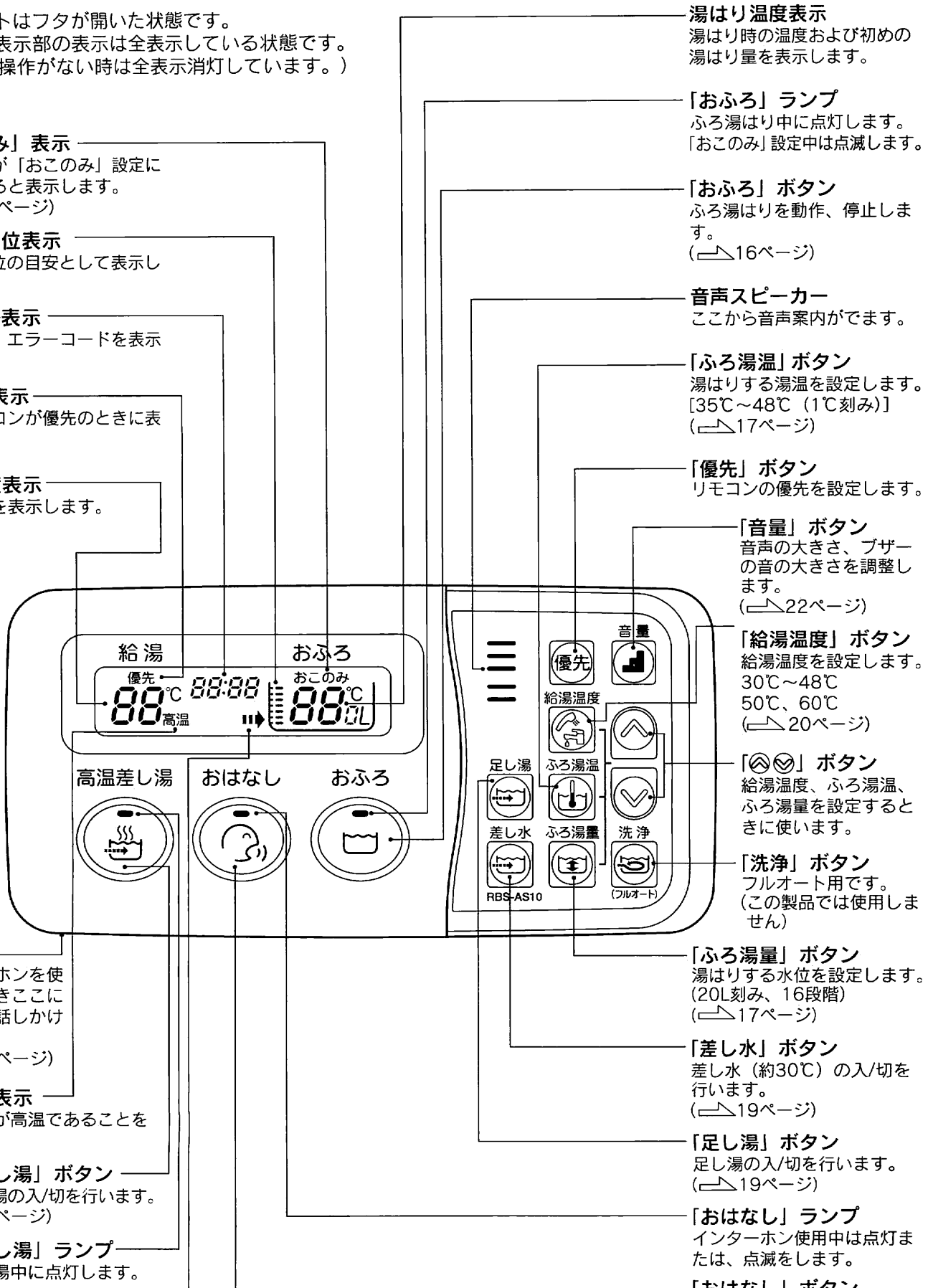
足し湯の入切を行います。
(☞19ページ)

「おはなし」ランプ

インターホン使用中は点灯または、点滅をします。

「おはなし」ボタン

メインリモコンと会話 (インターホン) をするときに使います。
(☞23ページ)



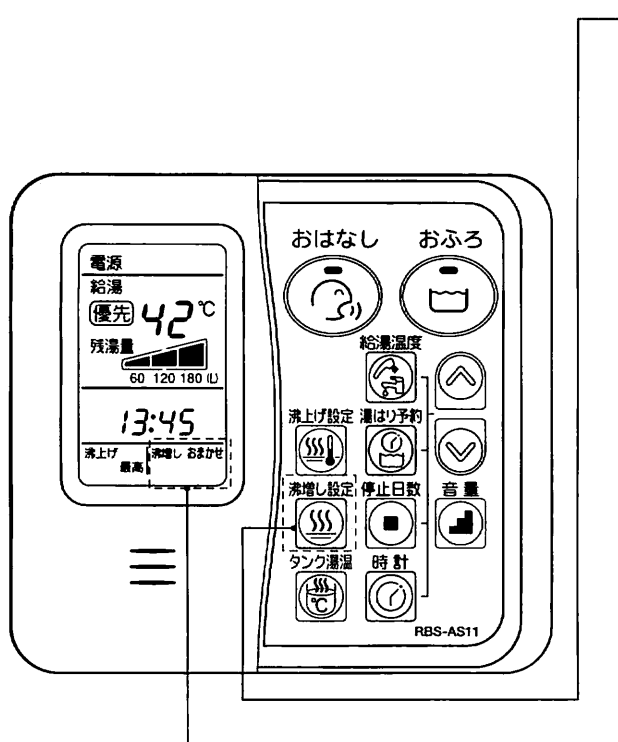
各部のなまえとはたらき

沸増し設定のしかた

※メインリモコンで操作します。

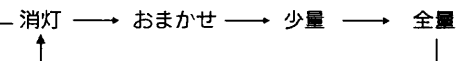
- 『時間帯別電灯』で使用しているときに使用できます。「沸増し設定」は昼間の電気でお湯を沸かす機能です。
- 深夜電力料金制度でご使用の場合は『沸増し設定』はできません。
- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクのお湯の『沸増し設定』が3段階で選べます。お湯の残り量をめやすに『沸増し設定』の設定をしてください。
- 来客などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなどあらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぎます。
- 『沸増し設定』をするとお湯をたつぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと『沸増し設定』はできません。

設定手順



1. 『沸増し設定』ボタンを押します

ボタンを押すごとに表示が切り替わり沸増しのパターンを変えます。



●沸増しのめやす

おまかせ…毎日湯切れの心配をしないでたつぷりとお湯を使いたい(毎日継続して沸きあげます)

少量…タンクの湯がないため沸かしてすぐシャワーを使いたい(毎日継続して沸増しを行います)

全量…昼間お湯を使ってしまいお湯が不足しそうなど(設定した当日1回だけ沸増しを行います)

2. 操作が終わったら必ずふたをしめます

解除の方法

「沸増し設定」ボタンを押して表示を消灯させます。

こんなとき 項目	毎日湯切れの心配をしないでたつぷりとお湯を使いたい	タンクの湯がないため沸かしてすぐシャワーを使いたい	昼間お湯を使ってしまいお湯が不足しそうとき
沸増し設定	おまかせ		
沸増しのしかた			
沸増しの条件	朝7時から夕方5時の間でお湯を約60L使用すると何回でも沸き増しを行う	夕方5時から夜間電力通電開始時刻の間で残湯量が約60L未満になると何回でも沸き増しを行う。	残湯量が約60L未満になると何回でも沸き増しを行う
解除の方法	「沸増し」ボタンを押して沸き増しの表示を消灯させる		
備考	夜の間に沸き上らなかったときに継続して約2時間余分に沸き上げを継続する	予約解除しないかぎり毎日沸き増し	予約解除しないかぎり毎日沸き増し

エラーの表示と処理のしかた

※メインリモコン・浴室リモコンの両方に表示されます。

- この電気温水器には異常時の自己診断機能があります。
- 現在時刻表示部に次の表示が出ているときは下の表に基づいて点検およびお買い上げ店に修理の依頼を行ってください。

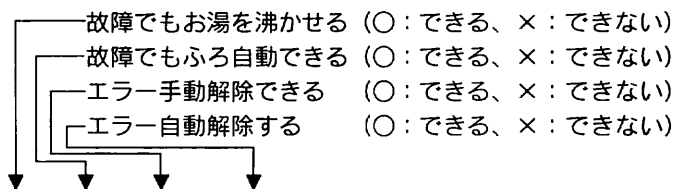


表 示	原 因	故障箇所・原因	タンク 沸上げ	ふ ろ 湯はり	エラー解除		対 処 方 法
					手動	自動	
E: 1	サーミスタ故障	水温湯温センサー	○	○	×	○	・センサーの確認 ・回路の断線開放確認 ・お買い上げ店に修理の依頼をしてください。
E: 2	〃	残湯180Lセンサー	○	○	×	○	
E: 3	〃	残湯120Lセンサー	○	○	×	○	
E: 4	〃	残湯60Lセンサー	○	○	×	○	
E: 5	深夜電力24時間停電	温水器側の電源投入が24時間中1度もなかった。	○	○	○	○	・停電 ・タイムスイッチ不良 ・漏電遮断器 ・引込み配線の断線 ・PC板コネクターの確認
E: 6	深夜電力2時間以上停電	2時間以上の停電ありで沸上がらない	○	○	○	○	・タイムスイッチ ・漏電遮断器 ・長時間の停電
E: 9	交信異常	リモコンと交信せず	○	×	○	○	・本体基板不良
E: 10	サーミスタ故障	残湯20Lセンサー	○	○	×	○	・センサーの確認 ・回路断線開放確認 ・お買い上げ店に修理の依頼をしてください
E: 22	湯切れ	タンク内残湯60L未滿	○	×	○	○	・タンク内の残湯確認
E: 27	湯はり完了せず	60分で180L未滿までしか湯はりできず	○	×	○	×	・専用止水せん確認 ・減圧弁ストレーナ確認 ・簡易ホッパー確認 ・水圧確認
E: 28	湯はり温度低い	給湯している温度が28℃以下で低い	○	×	○	×	・ミキシング不良 ・沸き上げ温度が低い ・センサー不良
E: 29	湯はり温度高い	給湯している温度が(設定+10℃)以上で高い	○	×	○	×	・ミキシング不良 ・センサー不良
E: Hc	タンク温度異常	タンク内温度が95℃以上	×	○	○	×	・水温、湯温センサーの不良 ・本体PC板の不良 ・本体リレー故障
E: HP	タンク圧力異常	タンク内圧力350kPa以上	×	○	○	×	・本体PC板の不良 ・逃し弁不良
E: HL	タンク水位異常	タンク満水でない	○	×	○	×	・専用止水栓の確認
H: 1	流量センサー不良 簡易ポッパー不良	流量検知できず	○	×	○	×	・流量センサーの確認 ・給水電磁弁ONせず ・ハーネス断線・短絡
H: 3	給水電磁弁・流量センサー (簡易ポッパー)不良	給水電磁弁がONしていないのに流量検知	○	×	○	×	・流量センサー不良 ・給水電磁弁不良 (オープン)
H: 4	ふろサーミスタ不良	正常値検知せず	○	×	×	○	・センサー確認 ・ハーネス断線・短絡
H: 5	給湯サーミスタ不良	正常値検知せず	○	○	×	○	・センサー確認 ・ハーネス断線・短絡
H: 6	電動ミキシングバルブ 不良 (フロ側)	正常値検知せず	○	×	○	×	・電動ミキシングバルブの確認 ・ハーネスの色・断線確認
H: 7	電動ミキシングバルブ 不良 (給湯側)	正常値検知せず	○	○	○	×	・電動ミキシングバルブの確認 ・ハーネスの色・断線確認

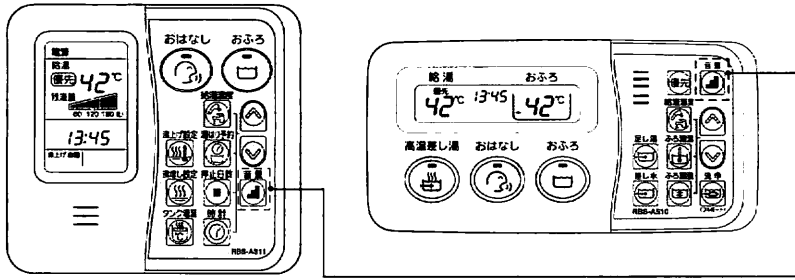
エラー解除のしかた

※エラーの解除は、メインリモコン・浴室リモコンの両方で行えます。

- リモコンの表示部にエラー表示した際には手順に従って解除してください。
- エラーには、解除できるものとできないものがあります。『エラーの表示と処理のしかた』をご覧ください。

1. メインリモコンで解除するとき

2. 浴室リモコンで解除するとき



操作手順

1. 『音量』 ボタンを3秒間押し続けます
ボタンを長押しするとエラーの表示が消灯し、現在時刻に戻ります。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

通水後お使いにならないとき
エラーの表示と処理のしかた

通水後お使いにならないとき

●通水確認後や使用開始後、外気温が凍結温度までさがるような時期に、数日間お使いにならないときには、下記にしたがって対応してください。

対応方法

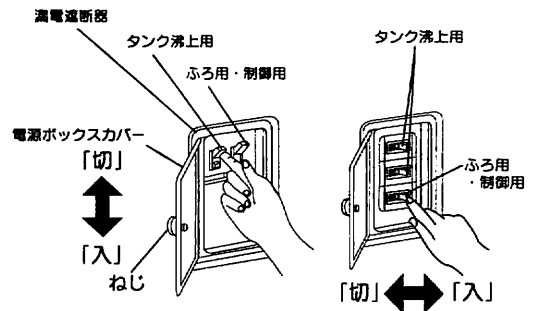
- お使いにならないときには、次の手順で各部の排水および水抜きを行ってください。
タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
- 各部の排水および水抜きのあと、『ふろ用・制御用』電源のみ通電したままとしてください。
配管内等にわずかに残った水による、部品の凍結破損を防止するためです。

排水・水抜き方法

- ①漏電遮断器のレバーを2つ(3つ)とも『切』にします。
- ②専用止水せんを閉じます。
- ③給湯せん、排水せんを開きます。
- ④約40分～50分でタンク内の水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁ワイヤーを引いて逃がし弁を開けてください)
- ⑤減圧弁水抜きせん、給水パイプドレンせん、フコ配管、給水管および給湯管の水抜きせんを開きます。
- ⑥漏電遮断器の『ふろ用・制御用』を『入』にします。
- ⑦浴室リモコンの『おふろ』ボタンを押し、20秒後『おふろ』ボタンを押し解除します。
- ⑧各部の水抜きが終わりましたら、給湯せん、排水せん、減圧弁水抜きせん給水パイプドレンせん、フコ配管、給水管および給湯管の水抜きせんを閉じます。
※専用止水せんは閉じたままとしてください。
- ⑨各部の水抜きが完了したら、『ふろ用・制御用』の漏電遮断器を『入』のままつきにご使用になるまで放置してください。(『タンク沸上用』は『切』)

ふたたび使用するとき

- ①給湯せん、専用止水せんを開きます。
- ②給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉めます。
- ③『タンク沸上用』の漏電遮断器を『入』にします。
- ④以上で再使用が可能となります。
※今夜からお湯を使用されたい場合には、沸き増し設定をします。(時間常別電灯契約の場合)
- ⑤『E:5』『E:6』等のエラーが発生することがありますが、メインリモコンまたは浴室リモコンで解除して使用してください。
※解除方法は取扱説明書の『エラー解除のしかた』をごらんください。



浴室リモコン

